

## (7) 配当政策の状況及び今後の考え方

当社グループは、引き続き業務の再構築やリストラによる経費削減等に取り組み、収益力強化を図るとともに、不良債権残高の大幅な削減や政策投資株式の圧縮等により改善されたバランスシートの健全性を維持しつつ、着実な内部留保の蓄積を図ってまいります。これにより Tier I 資本の質・量をともに充実させることを第一義的方针と致します。

配当につきましては、安定配当を基本とした上で、業績や内部留保の蓄積状況を勘案し、15 年 3 月期以降 4 期間は 3,000 円で据え置きとしてまいりました。19 年 3 月期におきましては、18 年 3 月期の当期利益が計画対比大幅な増益を達成するとともに、剰余金の蓄積状況も計画を十分上回るペースで進捗している状況に鑑み、前年比 1,000 円増配の 4,000 円配当を予定しております。20 年 3 月期以降におきましても、当期利益の安定的な黒字確保を前提に、業績展望や内部留保の蓄積状況、公的資金の返済状況

等も十分考慮した上で、配当性向にも留意しつつ普通株式配当を 1,000 円/年ずつ増配  
することを基本に検討してまいります。